

# 第41回 学生参画型FDの取り組み

関西大学の事例と4月からの今岡のミッション

- [第22回](#)(LMS活用と支援体制)の続き(?)
- [教育開発支援センター](#): 関西大のFD部門(2009~)
  - (1)[TSネットワーク](#): SA・TAの活用
  - (2)[アンケートX](#): 授業評価アンケートの改善
  - (3)[ICT活用プロジェクト](#): ICTを活用した教育実践の研究
- [今岡のミッション](#)(やることはきっとたくさんあるのだが…)
  - 学生を鍛える: SAから[LA\(Learning Assistant\)](#)へ
  - [自立的なサイクル](#)の形成へ: コミュニティ作り?

#「できるのか?」じゃねえよ、「やるんだよ!」 [おまけ](#)(参考文献的・参考サイトの)

## 第22回 高等教育におけるLMSの活用と支援体制 ～関西大学の事例～

- 関西大学では、[CEAS](#)（授業支援型LMS）を導入（2003～） ※**インフラの整備**
- LMS利用促進のための[支援体制](#) ※**組織的支援**
  - ①LMSの効果的な利用方法に関する支援（AS）
  - ②LMSを授業で活用する際の支援（TA・SA）
  - ③LMS利用に関する技術的な支援（CEAS管理チーム）
- **実践事例**
  - ①**大人数講義** ②**中人数講義** ※**事例の蓄積**
- **効果増** しかし、**負担も増** はたして広まるか…

# 教育開発支援センター

- 関西大学で行われている教育の質の向上のための「システム」構築をめざすことを目的として設立されました。
- 教育全般にかかわる情報とノウハウを提供し授業改善を中心とするFD活動を促進し、その活動を教員並びに学生に広く公開することを目的としています。

(Webサイトより)

- 3者協働(学生・教員・職員)
- 学生参画型
- How to Teach → How to Learn



## 学生資源の活用

①LMSの効果的な利用方法に関する支援	AS(アドバイザースタッフ)教育学・教育工学を専攻する大学院生4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でLMSを効果的に活用するための教育方法に関して教員と個別相談</li> <li>・CEAS以外のLMS設置・運用など技術的な支援</li> <li>・SAの技術研修(LMS・ビデオ撮影など)</li> </ul>
②LMSを授業で活用する際の支援	TA 大学院生50名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LMSの投稿意見やレポートへのコメント, 小テストの採点など, 科目内容に関わる支援</li> </ul>
	SA 学部生120名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LMSに提出された課題確認, 資料のコピー・配布, 出席確認など事務的な支援</li> </ul>
③LMS利用に関する技術的な支援	CEAS管理チーム CEASを開発した研究室の大学院生3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿登録・マニュアル作成・ヘルプデスクなどCEASに特化した設置・運用時の技術的な支援</li> </ul>

# 講習会・ワークショップ



## 以前アンケート項目（一部抜粋）

- 授業内容は、講義要項、授業計画等で示したものに沿った内容でしたか。
- 授業内容について、わかりやすくする工夫がなされていましたか。
- 担任者の解説の声は、はっきりと聞き取れましたか。
- 学生の理解を深めよう、能力を高めようとの熱意・努力が感じられましたか
- 教科書・配布資料の利用は適切でしたか黒板(白板)の使い方は適切でしたかOHP、ビデオ、パソコン等機器の使い方は適切でしたか
- 全体としてこの授業を受講して満足しましたか。
- この授業に触発されて、さらに深く学習したいと思いましたか。



## 以前の授業評価アンケート

- 2000年から行っている授業評価アンケートの課題
  - 5段階評価で、平均点が教員に届く。
  - 次学期に、「あなたはここが上がりました／下がりました」
  - どの授業でも同じ内容
  - 参考程度で、インセンティブ・ペナルティも無し
  - 学生にフィードバックが無い
- 意味あるの？ 無駄なんじゃないの？って意見



## アンケートXでは

- コンセプトを明確にし、教員の改善意識・関心を高めるための仕掛け作り等を立案し、実行したい。
- 学生との座談会を行い、学生へのフィードバック方法や実施結果の活用方法についても検討を行う。
- 熊大にも視察に来た(2009年3月)





# ICT活用プロジェクト

- 授業でLMSを効果的に活用するための教育方法に関して教員と個別相談
- CEAS以外のLMS設置・運用など技術的な支援
- 各種(パワーポイント)など講習会
- ICTを活用した授業実践の蓄積



# LA (Learning Assistant)

- 進化したSA: アクティブ・ラーニングを支援できる
  - ラーニング・モデル: 能動的に学習する姿を示す
  - ファシリテータ: 学習の支援を担う
  - メッセンジャー: 成長の軌跡を伝える
- ニーズ調査 (学生・教員・事務)
- 事例調査 (アクティブラーニング、学生参画)
- LAのコンピテンシー作り
- 人材発掘 (SAの中から)
- 人材育成 (研修のデザイン)



## 自立的なサイクル

- LAに触発された学生・SAがLAを志す
- LA自身が人材発掘・研修を企画
- 得意分野・一芸を持った人が講師役をし、教え合い、学び合い
- 学生へのメッセージ集・学びのTips作り
- 大学のサークルのような、研究室のような、居心地が良くて、学びが生まれるコミュニティを目指す。



## おまけ(参考サイト)

- 関西大学教育開発支援センター
  - <http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/>
- 同センター 授業改善の広場
  - <http://www.kansai-u.ac.jp/fd/>
- 【熊本大学】21世紀型大学教育セミナー
  - 「学生と教育を創る ―学生参画型FDによる大学の活性化―」
  - 平成22年2月22日 16:30～
  - <http://www.ge.kumamoto-u.ac.jp/seminar100222.pdf>

